



かながわ湘南西

障福ナビだより



令和 2 年 9 月 30 日 第 109 号

社会福祉法人 常成福祉会 丹沢自律生活センター総合相談室

〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2 ☎ 0463-71-5872 Fax 0463-75-3377 E-mail:soudan@jousei.or.jp

～7月29日に開催された湘南西部圏域自立支援協議会、地域協議会やその部会にとどまらず、地域の様々な機関において、コロナ禍における課題とその対策について意見が交わされています。その中で、今関心を集めている「ケア付き宿泊療養施設」について、秦野精華園総合施設長の永井様よりご寄稿いただきました。～

秦野精華園コロナ罹患者「ケア付き宿泊療養施設」について

秦野精華園総合施設長 永井 清光

神奈川県では、介護者が新型コロナウイルス感染症で入院し、在宅の高齢者や障がい者が取り残された場合、PCR検査で本人が陽性で軽症の場合に、福祉的ケアの割合が高く医療機関への入院が難しい場合に受け入れる「ケア付き宿泊療養施設」を秦野精華園内に設置しました。かながわ共同会は神奈川県からの要請を受け、地域社会に貢献する社会福祉法人の役割として応えるため、今年度より使用していなかった秦野精華園旧授産棟を無償で提供することにしました。「ケア付き宿泊療養施設」設置にあたって



は神奈川県の責任と管理の下、秦野精華園利用者・職員と環境・動線を明確に分離し、感染防止対策に十分配慮した上で、神奈川県職員が福祉的ケアやサービスを提供します。今回、秦野精華園の施設を提供するにあたっては、入所・通所の利用者さん、ご家族、職員に対して丁寧な説明を行ってきました。特にご家族、職員からは、「必要とされる施設なのでぜひ神奈川県に協力して下さい。」と激励のご意見をいただいた一方、「コロナに罹患するリスクはないのか。」など心配の声をいただきましたが、コロナ罹患のリスクが全くないことを丁寧に説明することで、皆様に概ねご理解ご協力いただけたことに大変感謝しております。また、在宅の高齢者や障がい者を介護されているご家族からは、万一、ご家族自身がコロナに罹患した場合、大きな不安があるとの多くの声が聞かれました。そういった不安の声に対して、少しでも秦野精華園を役立てていただけることに大変嬉しく思っています。「ケア付き宿泊療養施設」で働く神奈川県職員の皆様は、開設にあたって防護服の着脱手順、感染防止対策研修会など入念な準備を進められてきました。大変な使命感と決意を持って従事されることに敬意を表します。最後に、コロナ禍の早期終息を願うとともに、罹患された皆様の一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。

湘南西部圏域の皆さまへ

感染予防の視点で日常業務を実践していただくために

今年度開催された当圏域事業関連の会議において、新型コロナウイルス感染症に関する現場での困りごとについて多くの声をお寄せいただき、その内容を平塚保健福祉事務所にご報告・ご相談して参りました。その内容も踏まえ、この度、感染予防の視点で日常業務を実践していただくために、湘南西部圏域の事業所の皆さまに向けて、新たに資料を作成・提供いただきました。既に、圏域内市町行政、圏域自立支援協議会委員・オブザーバー、ネットワーク関係者の皆さまにはメールで配信しています(9/30)。かながわ湘南西障福ナビ(湘南西部障害保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター)の該当ホームページにも掲載していますので、それぞれの現場でご活用いただけると幸いです。なお、内容についてご不明な点は、平塚保健福祉事務所/平塚保健福祉事務所秦野センターにお問い合わせください。



【資料掲載場所】

“かながわ湘南西障福ナビ”を検索し、“お知らせ”ページ掲載の「障害福祉サービス事業所等に対する新型コロナウイルス感染症に係る資料の配布について」をご覧ください。資料掲載場所がご不明な方は、かながわ湘南西障福ナビまでお問い合わせください。

令和2年度第1回湘南西部圏域重心・医療的ケア支援NW会議 & 令和2年度第1回湘南西部圏域相談支援NW会議をWeb開催



湘南西部圏域地域生活ナビゲーションセンター(湘南西障福ナビ)が事務局となって開催する会議は、原則として年度内の対面開催が見送られています。しかし、このような時期だからこそ、タイムリーな意見交換の場が必要であることから、WebでNW会議を開催しました(重心NW9/4・25名、相談NW9/25・15名)。初めて利用する方もおり、希望者には事前の接続テストを行っています。発信(確認)したい情報を予め提出いただき、それを事務局でとりまとめ、会議前に参加者全体で

共有して会議に臨みました。当日は音声トラブル等もありましたが、委員の方々のご協力のおかげで、効率的に会議を開催することができました。Web会議では、意見交換の際の間の取り方の難しさや、複数人で同時に話すことができないなどの歯がゆさがある一方で、コロナ禍でも安全に多くの方と生で意見交換できる、遠くに出向かないので時間等の節約が可能になる、などのメリットもありました。よりよい手段にするため、更なる慣れと改善が必要と感じた次第です。それぞれの会議の内容は、次号でお伝えします。なお、第2回湘南西部圏域自立支援協議会は、令和3年2月17日(水)にWeb開催(参加が難しい方は書面参加)予定です。

【あとがき】今年で法人設立30周年を迎えました。これまで支えてくださった、地域の皆さま、関係各所に心より御礼申し上げます。平成5年から自主事業として開始した相談支援事業は27年が経ちました。小さな部署ですが、地域で役割を果たせる事業所を目指し、これからも研鑽に励みます。